

ノルウェーからの示唆 ジェンダー平等先進国の事例から日本が学べること

衛藤幹子
(政治学博士、法政大学)

報告項目

1. 「ジェンダー平等」という経済戦略
2. ジェンダー平等政策の背景
3. ノルウェーにおけるジェンダー平等政策の枠組み
4. ノルウェーの労働組合
5. ノルウェーの示唆

ジェンダー平等という経済戦略

- ▷ ジェンダー平等は経済成長に貢献

デンマーク、アイスランド、ノルウェー、スウェーデンの過去40年から50年間の女性の労働市場参加の推進だけで、平均して10%から20%一人当たりGDPを押し上げた（OECD, 2018）

- ▷ 北欧のジェンダー平等政策の二面性

理念～人権、平等

実利～経済と社会の持続可能な発展

ソフトパワー、「ジェンダー平等」という輸出品（価値観）

- ▷ EUへの拡大

北欧モデルをEUが採用

ジェンダー平等は環境と並んでEUの重要課題

→ 環境タクソノミー、社会的タクソノミー

社会的タクソノミー

評価の指標（透明性や責任ある行動、公正な税提、企業トップや役員人事におけるジェンダー、技能、経験や経歴の多様性など）

表1：経済と政治における女性活躍推進制度と現状

	女性役員クオータ法 クオータ比率（導入年）	女性役員比率 （2020年）	女性候補者クオータ 法律もしくは政党	女性国会議員比率 （2022年1月）
ノルウェー	40%（2003年）	42%	政党によるクオータ	45%
フィンランド	40%（2005年）	38%	—	45.5%
スペイン	40%（2007年）	28%	クオータ法	43%
フランス	40%（2011年）	43%	パリテ法	39.5%
イタリア	33%（2011年）	37%	クオータ法	36.6%
ベルギー	33%（2011年）	35%	クオータ法	42%
アイスランド	40%（2011年）	40%	政党によるクオータ	47.6%
ドイツ	30%（2015年）	32%	政党によるクオータ	34.9%

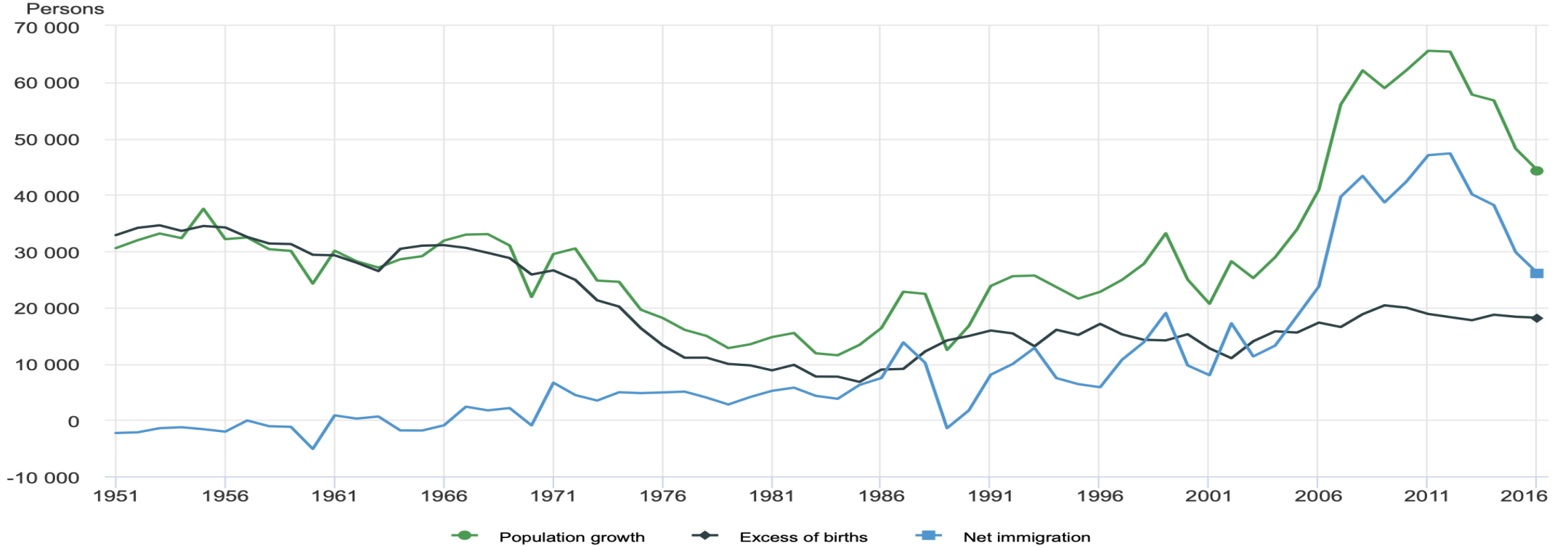
ジェンダー平等政策の背景

—ノルウェーの人口構造の変化—

Population changes. Population growth, excess of births and net immigration. 1951-2015



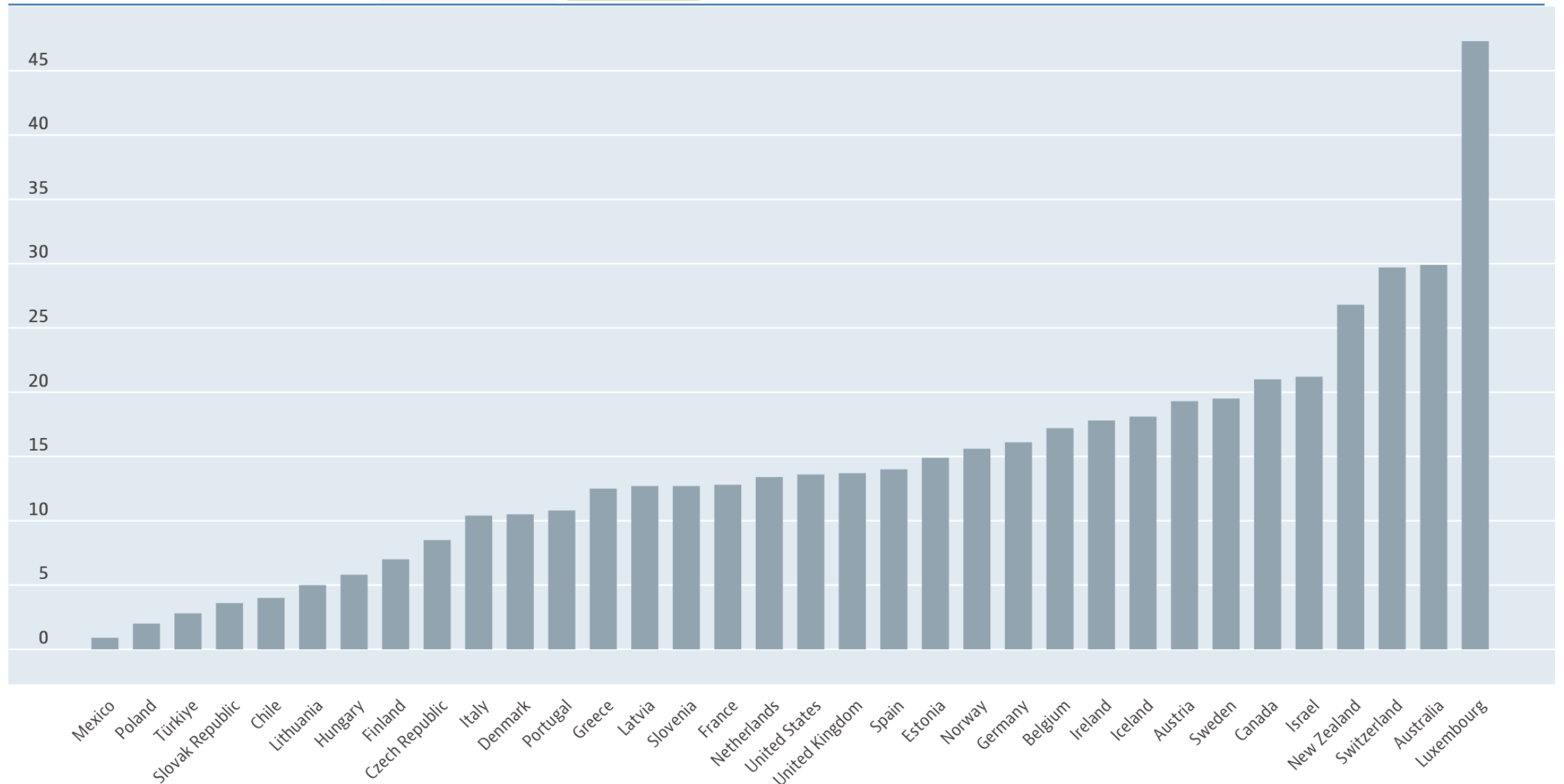
Population growth is the difference between two consecutive years of population, and is not always equal to the sum of excess of births and net immigration.



Source: Statbank table 06913, Population and population changes, Statistics Norway.

労働力不足→①移民 ②女性

図3：総人口に占める外国生まれの人口の割合、OECD諸国に比較、2019年（OECD Data, 2021）



ノルウェーにおけるジェンダー平等政策の枠組み

女性の労働市場参加を政策的に誘導

1. ジェンダー平等地位法（1978年）

ジェンダーに基づく差別の禁止～「ジェンダー平等オンブッド」

差別是正のためのポジティブ・アクション等の措置

→クオータ法制の根拠

2. ジェンダークオータ制度

公職（政府関係委員会の女性委員40%）法制化

1981年 平等法の改正 1988年 中央政府で導入 1992年 地方政府で導入

政党の自発的クオータ

1970年代半ばより、政党が選挙における女性候補者クオータを自発的に導入

社会左派党、ノルウェー労働党、中央党、キリスト教大衆党

女性役員クオータ法（2003年）

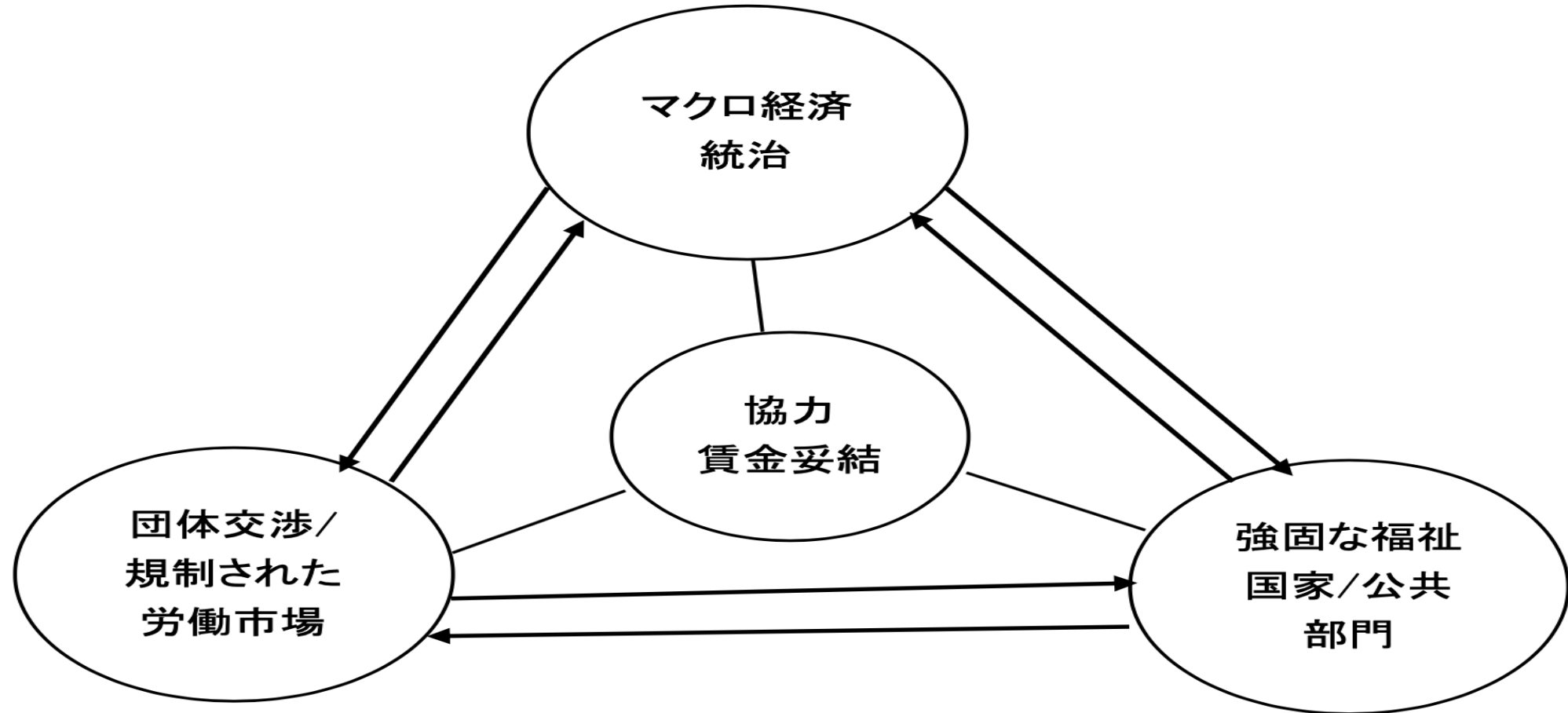
3. 家族政策

育児休暇、児童手当、保育施設

（報告書参照）

ノルウェーの労働組合

図9 ノルウェーのマクロ経済政策における労組の役割 (イメージ図)



(Konglevoll 氏より提供された資料を翻訳の上転載した)

ノルウェーの示唆

1. ジェンダー平等を国家の経済戦略の柱と位置づけ、政策を体系的に整備
2. 政・財・労のコンセンサス
3. 現在の政策的成果は、半世紀近くの蓄積の成果（「ローマは1日にして成らず」）
4. 「ノルウェーモデル」も完全なジェンダー平等を達成できていない
教育、労働市場、指導的地位、収入、家庭生活におけるジェンダー格差（報告書参照）
→ ジェンダー平等の実現には長い時間がかかる

— 改革の2つの方向性

Fast Track（即効的改革）

例：強力なクォータ法制（厳しい罰則規定など）の導入

民主主義や自由で公正な社会体制が未熟な新興国家に適用しやすい

Incremental Track（漸進的改革）

成熟国家

西欧モデル